

Power Query for Excelを用いた 効率的なデータ処理 追加資料

# 複数列の効率よい置換

高知大学 学び創造センター 高畑 貴志

[takashi-takabatake@kochi-u.ac.jp](mailto:takashi-takabatake@kochi-u.ac.jp)

# この資料は

- SPOD2025プログラム説明資料において、パート3.iで説明した、  
列の置き換え処理（選択肢→1～4の数値化 & 列名変更）  
を、残りの14列に適用する作業を、
  - 14回同じ作業を繰り返すのではなく、
  - パート3.iiで紹介した詳細エディタの機能を使うのでもなく、  
効率よく処理する方法を紹介します。

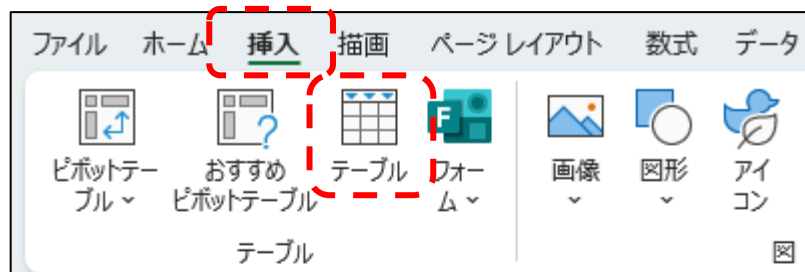
## [説明] この資料で説明する処理手順の概要

- ① まず、T質問シートの表を追加でテーブル化します。  
（このテーブルは、⑤で列名の変更に使います。）
- ② 3種類の設問すべての選択肢に関する、質問文と数値の対応表を作成し、
- ③ 回答クエリを参照する形で、集計用の「回答まとめ」クエリを作成し、
- ④ 15列のアンケートの回答を、ロング形式に変換し、  
（SPODプログラムの説明資料ステップ6で説明した操作です）
- ⑤ ①のテーブルを用いて、質問文を質問番号に置き換え、
- ⑥ ②の対応表で、選択肢の文を数値に置き換え、
- ⑦ ロング形式を、ワイド形式に戻して、作業完了です。

元ファイル03.xlsxから処理を進める手順を次スライドから説明します。

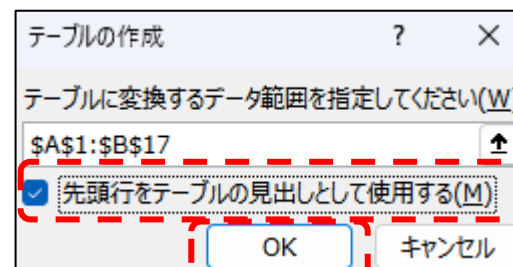
# [操作] T質問テーブルの追加 (1)

- 元ファイルにあるT質問シートの表をテーブルに変換し、



Excelの「挿入」タブの「テーブル」グループ。赤い点線枠で「テーブル」ボタンが囲まれている。

	A	B	C	D	E
1	質問番号	質問文			
2	Q1-1	真面目に授業に取り組む			
3	Q1-2	興味あることに自主的に取り組む			
4	Q2-1	専門分野に関する知識			
5	Q2-2	文化・社会 自然に関する基礎的知識			
6	Q2-3	論理的に思考する力			
7	Q2-4	課題を発見し解決に導く力			
8	Q2-5	英語等の語学に関する知識			
9	Q2-6	パソコン等の使い方などの情報に関する知識			
10	Q2-7	表現力			
11	Q2-8	コミュニケーション能力			
12	Q2-9	協働実践力			
13	Q2-10	自律力			
14	Q2-11	倫理観			
15	Q2-12	統合・働きかけ			
16	Q3-1	大学教育を総合的に判断した満足度			
17	Q3-2	大学生活を総合的に判断した満足度			



# [操作] T質問テーブルの追加（2）

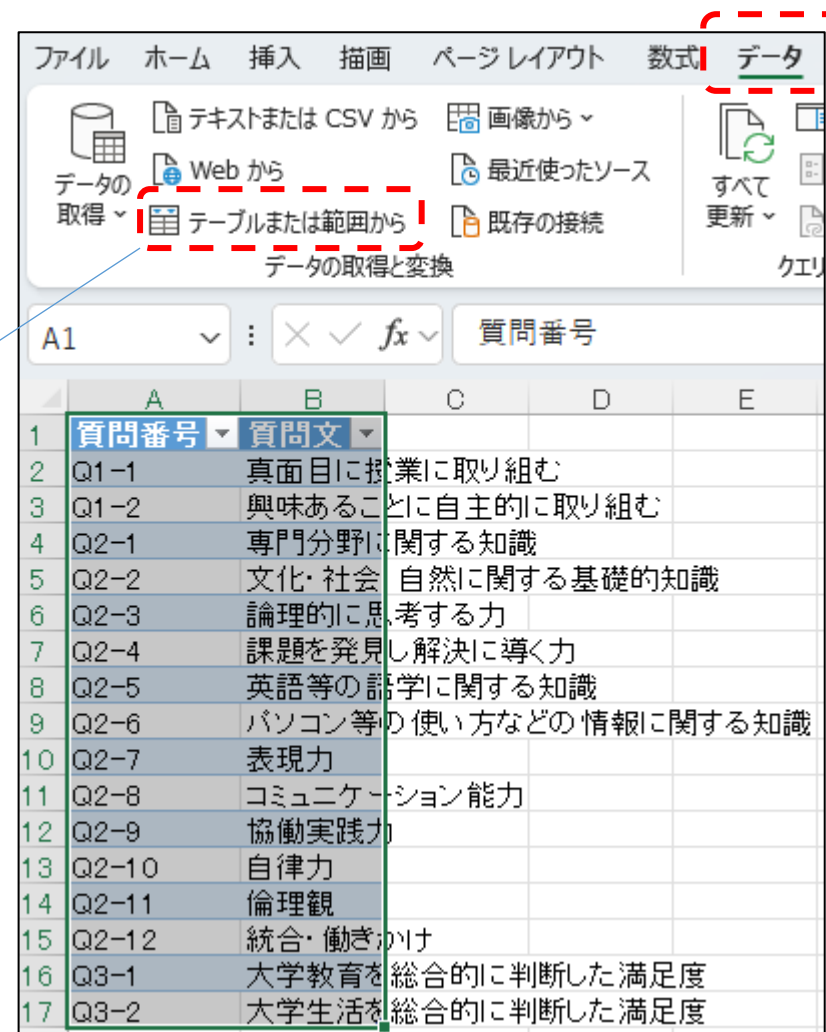
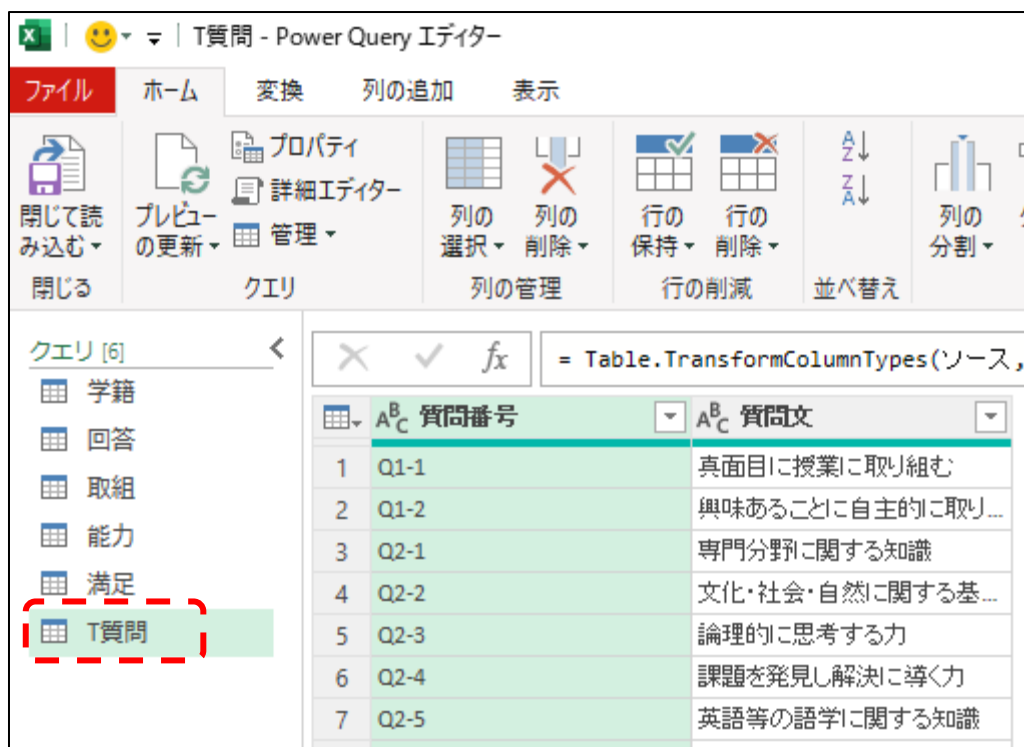
- テーブル名をT質問に変更

The screenshot shows the Microsoft Excel interface with the 'Table Design' ribbon selected. The 'Table Name' field is highlighted with a red dashed box and contains the text 'T質問'. Below it, the 'Table Size Change' button is also highlighted. The table below has columns '質問番号' and '質問文'.

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	質問番号	質問文								
2	Q1-1	真面目に授業に取り組む								
3	Q1-2	興味あることに自主的に取り組む								
4	Q2-1	専門分野に関する知識								
5	Q2-2	文化・社会 自然に関する基礎的知識								
6	Q2-3	論理的に思考する力								
7	Q2-4	課題を発見し解決に導く力								
8	Q2-5	英語等の語学に関する知識								
9	Q2-6	パソコン等の使い方などの情報に関する知識								
0	Q2-7	表現力								
1	Q2-8	コミュニケーション能力								
2	Q2-9	協働実践力								
3	Q2-10	自律力								
4	Q2-11	倫理観								
5	Q2-12	統合・働きかけ								
6	Q3-1	大学教育を総合的に判断した満足度								
7	Q3-2	大学生活を総合的に判断した満足度								

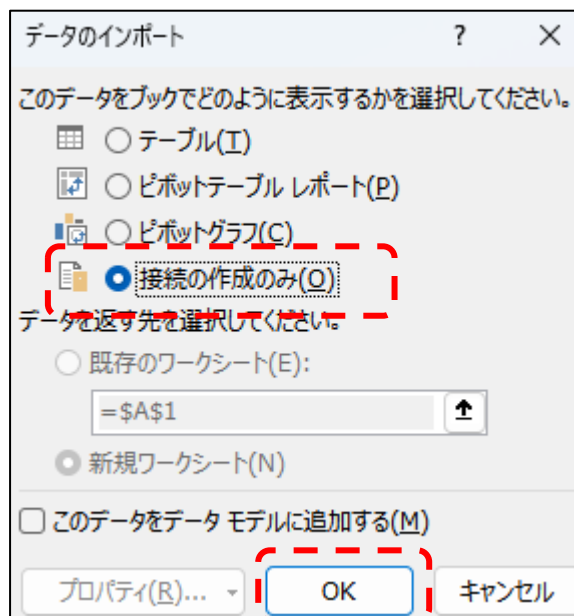
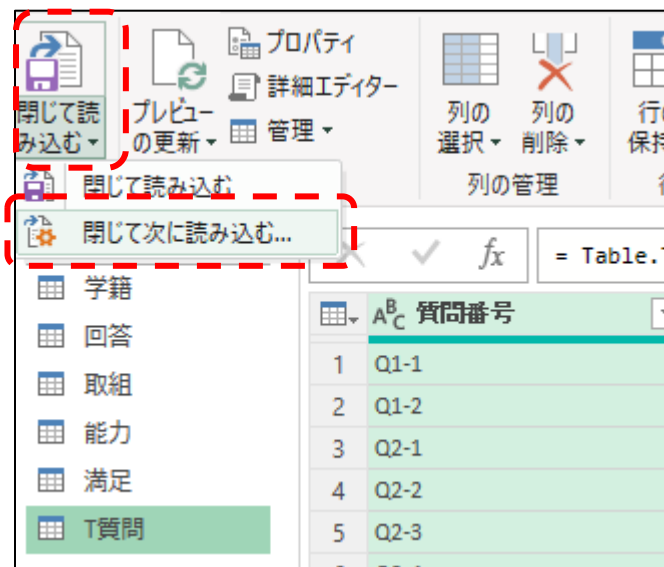
# [操作] T質問テーブルの追加（3）

- データタブのテーブルまたは範囲からボタンで、Power Query エディターにクエリとして登録



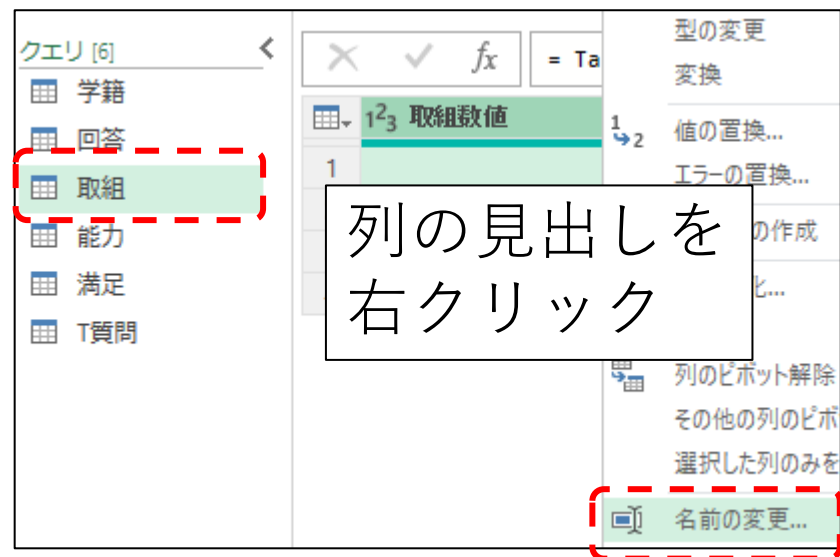
# [操作] T質問テーブルの追加 (4)

作成したT質問クエリは、接続専用にします。



# [操作] 選択肢の文と数値の対応表作成（1）

- 取組、能力、満足の3つの表を合併した対応表を作成していきます。
- Power Query エディタを起動し、取組、能力、満足の3クエリの列名を、数値、選択肢に変更します。



学籍	1 <sup>2</sup> <sub>3</sub> 数値	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 選択肢
回答		
取組	1	1 全くあてはまらない
能力	2	2 あまりあてはまらない
満足	3	3 まああてはまる
T質問	4	4 とてもあてはまる

学籍	1 <sup>2</sup> <sub>3</sub> 数値	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 選択肢
回答		
取組	1	1 全く身に付かなかった
能力	2	2 あまり身に付かなかった
満足	3	3 まあ身に付いた
	4	4 とても身に付いた

学籍	1 <sup>2</sup> <sub>3</sub> 数値	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 選択肢
回答		
取組	1	1 全く満足していない
能力	2	2 あまり満足していない
満足	3	3 まあ満足している
	4	4 満足している



## [操作] 選択肢の文と数値の対応表作成（２）

「取組」クエリを選択した状態で、ホームタブの「クエリの追加」ボタン右の▼から「クエリを新規クエリとして追加」を選び...



The screenshot shows the Power Query Editor window titled '取組 - Power Query エディター'. The 'ホーム' (Home) tab is active. In the 'クエリ' (Queries) section, the '取組' query is selected. The ribbon shows the 'クエリの追加' (Add Query) button with a dropdown menu open, highlighting 'クエリを新規クエリとして追加' (Add as new query). The main area displays a table with two columns: '数値' (Number) and '選択肢' (Option). The formula bar shows the formula: `= Table.RenameColumns(変更された型,{{"取組数値", "数値"}, {"取組選択肢", "選択肢"}})`.

数値	選択肢
1	全くあてはまらない
2	あまりあてはまらない
3	まああてはまる
4	とてもあてはまる

## [操作] 選択肢の文と数値の対応表作成（3）

「3つ以上のテーブル」を選択し、  
追加するテーブルに「取組」「能力」「満足」の3つのクエリを設定してOK

**追加**  
3つ以上のテーブルの行を連結して1つのテーブルにします。

☐ 2つのテーブル ☒ 3つ以上のテーブル

利用可能なテーブル

学籍
回答
取組
能力
満足
T質問

追加 >>

追加するテーブル

取組
能力
満足

↑  
×  
↓

OK キャンセル

## [操作] 選択肢の文と数値の対応表作成（４）

3つのクエリを合併した新しいクエリが作成されるので、名前を分かりやすいもの（ここでは「選択肢・数値対応表」としています）に変更します。

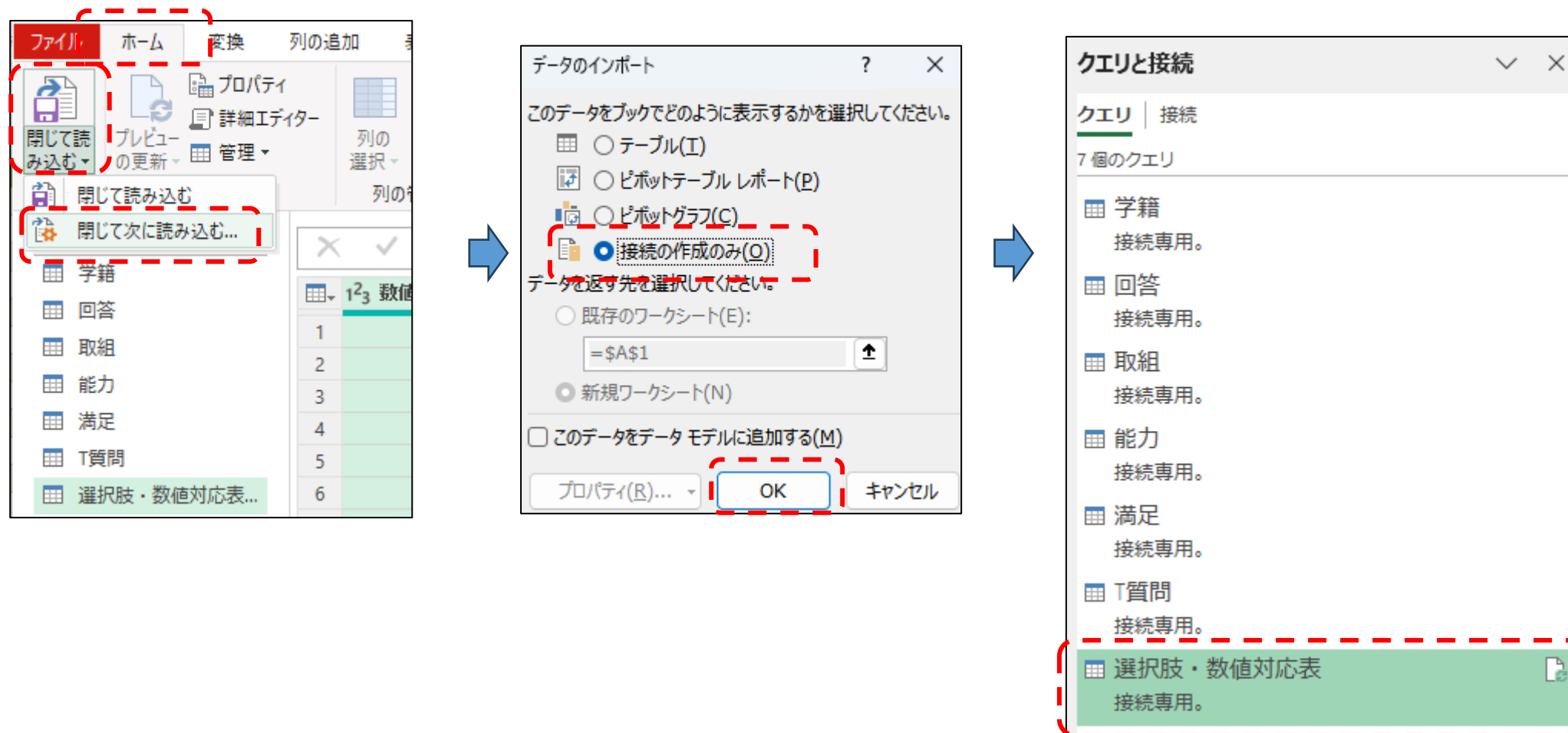
The screenshot shows a software interface with a query editor on the left, a central table, and a settings panel on the right. The query editor shows a list of queries: 学籍, 回答, 取組, 能力, 満足, T質問, and 選択肢・数値対... (highlighted). The central table has two columns: 1<sup>2</sup> 数値 and A<sup>B</sup> 選択肢. The table contains 12 rows of data. The right panel shows the 'クエリの設定' (Query Settings) for the selected query, with the name '選択肢・数値対応表' (highlighted) and a 'ソース' (Source) section.

1 <sup>2</sup> 数値	A <sup>B</sup> 選択肢
1	全くあてはまらない
2	あまりあてはまらない
3	まああてはまる
4	とてもあてはまる
5	1 全く身に付かなかった
6	2 あまり身に付かなかった
7	3 まあ身に付いた
8	4 とても身に付いた
9	1 全く満足していない
10	2 あまり満足していない
11	3 まあ満足している
12	4 満足している

3種類の質問すべてに対応できる  
対応表が完成しました。

# [操作] 選択肢の文と数値の対応表作成 (5)

作成した「選択肢・数値対応表」クエリは、接続専用としておきます。



# [操作] 集計用クエリの作成（１）

回答クエリに読み込んだ表データを加工していきますが、**加工前のデータを残すために**別のクエリを作成します。

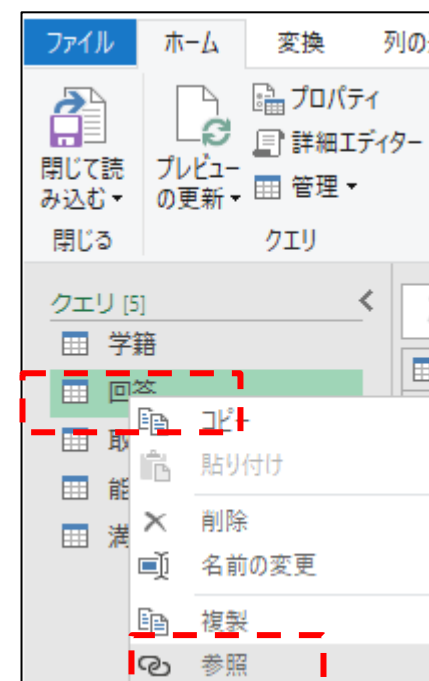
①Power Queryエディター回答クエリを右クリックで「参照」を選択

②回答(2)というクエリが追加される



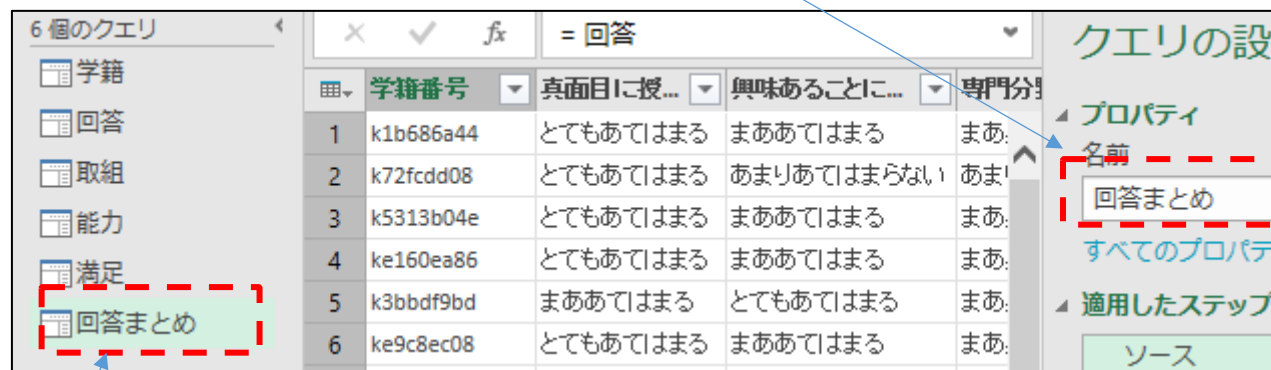
クエリ [6]

	A <sup>B</sup> 学籍番号	A <sup>B</sup> 真面目に授業に取り...	A <sup>B</sup> 興味あることに自主...
1	k1b686a44	とてもあてはまる	まああてはまる
2	k72fcdd08	とてもあてはまる	あまりあてはまらない
3	k5313b04e	とてもあてはまる	まああてはまる
4	ke160ea86	とてもあてはまる	まああてはまる
5	k3bbdf9bd	まああてはまる	とてもあてはまる



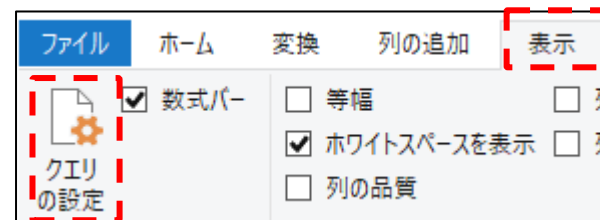
# [操作] 集計用クエリの作成（2）

③クエリの設定ペインで名前を変更（「回答まとめ」とする）



④一覧のクエリ名が変更される

クエリの設定ペインを消してしまった時は表示タブから再表示できます。



# [操作] 回答のロング化 (1)

- 回答まとめシートの、学籍番号以外の列を選択し、変換タブから「列のピボット解除」を選びます。

The screenshot shows the Power Query Editor interface. The 'Transform' tab is active, and the 'Pivot Off' button is highlighted with a red dashed box. The data table below shows columns for student ID and various survey responses.

	A <sup>B</sup> 学籍番号	A <sup>B</sup> 真面目に授業に取り...	A <sup>B</sup> 興味あることに自主...	A <sup>B</sup> 専門分野に関する...	A <sup>B</sup> 文化・社会・自然に...
1	k1b686a44	とてもあてはまる	まああてはまる	まあ身に付いた	あまり身に付かなかった
2	k72fcdd08	とてもあてはまる	あまりあてはまらない	あまり身に付かなかった	まあ身に付いた
3	k5313b04e	とてもあてはまる	まああてはまる	まあ身に付いた	まあ身に付いた
4	ke160ea86	とてもあてはまる	まああてはまる	まあ身に付いた	まあ身に付いた
5	k3bbdf9bd	まああてはまる	とてもあてはまる	まあ身に付いた	まあ身に付いた
6	ke9c8ec08	とてもあてはまる	まああてはまる	まあ身に付いた	まあ身に付いた
7	k7e17e755	とてもあてはまる	まああてはまる	まあ身に付いた	まあ身に付いた
8	kd528c6c7	まああてはまる	あまりあてはまらない	あまり身に付かなかった	全く身に付かなかった
9	k6918ebc4	とてもあてはまる	あまりあてはまらない	とても身に付いた	まあ身に付いた

先頭の列の見出しを選択した後で、末尾の列の列の見出しを Shift キーを押しながら選択すると、列をまとめて選択できます。

## [操作] 回答のロング化（2）

- このように、15列の回答が「属性」と「値」のペアで構成されるロング型に変換されました。

クエリ [8] <

学籍  
回答  
取組  
能力  
満足  
T質問  
選択肢・数値対  
回答まとめ

fx = Table.UnpivotOtherColumns(ソース, {"学籍番号"}, "属性", "値")

	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 学籍番号	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 属性	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 値
1	k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる
2	k1b686a44	興味あることに自主的に取り...	まああてはまる
3	k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身に付いた
4	k1b686a44	文化・社会・自然に関する基...	あまり身に付かなかった
5	k1b686a44	論理的に思考する力	まあ身に付いた
6	k1b686a44	課題を発見し解決に導く力	とても身に付いた
7	k1b686a44	英語等の語学に関する知識	全く身に付かなかった
8	k1b686a44	パソコン等の使い方などの...	まあ身に付いた
9	k1b686a44	表現力	まあ身に付いた
10	k1b686a44	コミュニケーション能力	あまり身に付かなかった
11	k1b686a44	協働実践力	とても身に付いた
12	k1b686a44	自律力	とても身に付いた
13	k1b686a44	倫理観	とても身に付いた
14	k1b686a44	総合・働きかけ	とても身に付いた



# [操作] 質問文を質問番号に置き換え（1）

- ロング形式では「属性」列となった質問文を、T質問クエリの対応表を使って、質問番号に置き換えていきます。
- 「回答まとめ」クエリを選択した状態で、ホームタブの「クエリのマージ」を押し、

Power Query エディター - 回答まとめ

ファイル ホーム 変換 列の追加 表示

クエリ: プロパティ, 詳細エディター, 管理

列の管理: 列の選択, 列の削除

行の削減: 行の保持, 行の削除

並べ替え: 並べ替え

変換: データ型: テキスト, 1行目をヘッダーとして使用, 値の置換, グループ化

結合: クエリのマージ, クエリの追加, ファイルの結合

クエリ [8]

- 学籍
- 回答
- 取組
- 能力
- 満足
- T質問
- 選択肢・数値対
- 回答まとめ**

fx = Table.UnpivotOtherColumns(ソース, {"学籍番号"}, "属性", "値")

	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 学籍番号	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 属性	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 値
1	k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる
2	k1b686a44	興味あることに自主的に取り...	まああてはまる
3	k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身に付いた
4	k1b686a44	文化・社会・自然に関する基...	あまり身に付かなかった
5	k1b686a44	論理的に思考する力	まあ身に付いた
6	k1b686a44	課題を発見し解決に導く力	とても身に付いた
7	k1b686a44	英語等の語学に関する知識	全く身に付かなかった
8	k1b686a44	パソコン等の使い方などの...	まあ身に付いた
9	k1b686a44	表現力	まあ身に付いた
10	k1b686a44	コミュニケーション能力	あまり身に付かなかった

## [操作] 質問文を質問番号に置き換え（２）

- 「回答まとめ」クエリの属性列と「T質問」クエリの質問文列を結合するよう設定しOK

結合の種類は標準の「左外部」



マージ

マージされたテーブルを作成するには、テーブルと照合列を選んでください。

回答まとめ

学籍番号	属性	値
k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる
k1b686a44	興味あることに自主的に取り組む	まああてはまる
k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身に付いた
k1b686a44	文化・社会・自然に関する基礎的知識	あまり身に付かなかった
k1b686a44	論理的に思考する力	まあ身に付いた

T質問

質問番号	質問文
Q1-1	真面目に授業に取り組む
Q1-2	興味あることに自主的に取り組む
Q2-1	専門分野に関する知識
Q2-2	文化・社会・自然に関する基礎的知識
Q2-3	論理的に思考する力

結合の種類

左外部 (最初の行すべて、および 2 番目の行のうち...)

☐ あいまい一致を使用してマージを実行する

▷ あいまい一致オプション

✓ 選択範囲では、最初のテーブルと 12000 行中 12000 行が一致しています...

OK キャンセル

# [操作] 質問文を質問番号に置き換え (3)

結合したT質問  
クエリを図のように  
展開して  
質問番号列を作成

クエリ [8] ✕ ✓ fx `= Table.NestedJoin(ピボット解除された列, {"属性"}, T質問, {"質問文"}, "T質問", JoinKind.`

	A <sub>C</sub> 学籍番号	A <sub>C</sub> 属性	A <sub>C</sub> 値	T質問
1	k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Table
2	k1b686a44	興味あることに自主的に取り...	まああてはまる	Table
3	k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身に付いた	Table
4	k1b686a44	文化・社会・自然に関する基...	あまり身に付かなかった	Table
5	k1b686a44	論理的に思考する力	まあ身に付いた	Table
6	k1b686a44	課題を発見し解決に導く力	とても身に付いた	Table
7	k1b686a44	英語等の語学に関する知識	全く身に付かなかった	Table
8	k1b686a44	パソコン等の使い方などの...	まあ身に付いた	Table

A<sub>C</sub> 値 T質問

展開する列の検索

☒ 展開 ☐ 集計

☒ (すべての列の選択)

☒ 質問番号

☐ 質問文

☐ 元の列名をプレフィックスとして使用します

OK キャンセル

	A <sub>C</sub> 学籍番号	A <sub>C</sub> 属性	A <sub>C</sub> 値	A <sub>C</sub> 質問番号
1	k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1
2	k72fcd08	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1
3	k1b686a44	興味あることに自主的に取り...	まああてはまる	Q1-2
4	k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身に付いた	Q2-1
5	k1b686a44	文化・社会・自然に関する基...	あまり身に付かなかった	Q2-2
6	k1b686a44	論理的に思考する力	まあ身に付いた	Q2-3
7	k1b686a44	課題を発見し解決に導く力	とても身に付いた	Q2-4
8	k1b686a44	英語等の語学に関する知識	全く身に付かなかった	Q2-5
9	k1b686a44	パソコン等の使い方などの...	まあ身に付いた	Q2-6

質問文を質問番号に置き換え完了！

# [操作] 選択肢の文を数値に置き換え（１）

- さらに、ロング形式では「値」列となった選択肢の文を、選択肢・数値対応表クエリを使って、数値に置き換えていきます。

「回答まとめクエリ」を選択した状態で、ホームタブの「クエリのマージ」を押し、



クエリ [8]

- 学籍
- 回答
- 取組
- 能力
- 満足
- T質問
- 選択肢・数値対
- 回答まとめ

fx = Table.ExpandTableColumn(マージされたクエリ数, "T質問", {"質問番号"}, {"質問番号"})

	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 学籍番号	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 属性	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 値	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 質問番号
1	k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1
2	k72fcdd08	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1
3	k1b686a44	興味あることに自主的に取り...	まああてはまる	Q1-2
4	k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身に付いた	Q2-1
5	k1b686a44	文化・社会・自然に関する基...	あまり身に付かなかった	Q2-2
6	k1b686a44	論理的に思考する力	まあ身に付いた	Q2-3
7	k1b686a44	課題を発見し解決に導く力	とても身に付いた	Q2-4
8	k1b686a44	英語等の語学に関する知識	全く身に付かなかった	Q2-5

# [操作] 選択肢の文を数値に置き換え（2）

- 「回答まとめ」クエリの値列と「選択肢・数値対応表」クエリの選択肢列を結合するよう設定しOK

結合の種類は標準の「左外部」



マージ

マージされたテーブルを作成するには、テーブルと照合列を選んでください。

回答まとめ

学籍番号	属性	値	質問番号
k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1
k72fcd08	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1
k1b686a44	興味あることに自主的に取り組む	まああてはまる	Q1-2
k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身に付いた	Q2-1
k1b686a44	文化・社会・自然に関する基礎的知識	あまり身に付かなかった	Q2-2

選択肢・数値対応表

数値	選択肢
1	全くあてはまらない
2	あまりあてはまらない
3	まああてはまる
4	とてもあてはまる
5	全く身に付かなかった

結合の種類

左外部 (最初の行すべて、および 2 番目の行のうち...)

☐ あいまい一致を使用してマージを実行する

▶ あいまい一致オプション

✓ 選択範囲では、最初のテーブルと 12000 行中 12000 行が一致しています...

OK キャンセル

# [操作] 選択肢の文を数値に置き換え（3）

結合した

選択肢・数値対応表  
クエリを図のように  
展開して  
数値列を作成

	A <sub>C</sub> <sup>B</sup> 学籍番号	A <sub>C</sub> <sup>B</sup> 属性	A <sub>C</sub> <sup>B</sup> 値	A <sub>C</sub> <sup>B</sup> 質問番号	選択肢・数値対応表
1	k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1	Table
2	k72fcd08	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1	Table
3	k1b686a44	興味あることに自主的に取り...	まああてはまる	Q1-2	Table
4	k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身に付いた	Q2-1	Table
5	k1b686a44	文化・社会・自然に関する基...	あまり身に付かなかった	Q2-2	Table
6	k1b686a44	論理的に思考する力	まあ身に付いた	Q2-3	Table
7	k1b686a44	課題を発見し解決に導く力	とても身に付いた	Q2-4	Table
8	k1b686a44	英語等の語学に関する知識	全く身に付かなかった	Q2-5	Table
9	k1b686a44	パソコン等の使い方などの...	まあ身に付いた	Q2-6	Table

A<sub>C</sub><sup>B</sup> 質問番号

展開する列の検索

☒ 展開 ☐ 集計

☒ (すべての列の選択)

☒ 数値

☐ 選択肢

☐ 元の列名をプレフィックスとして使用します

OK キャンセル

	A <sub>C</sub> <sup>B</sup> 学籍番号	A <sub>C</sub> <sup>B</sup> 属性	A <sub>C</sub> <sup>B</sup> 値	A <sub>C</sub> <sup>B</sup> 質問番号	1 <sub>2</sub> 3 数値
1	k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1	4
2	k72fcd08	真面目に授業に取り組む	とてもあてはまる	Q1-1	4
3	k1b686a44	興味あることに自主的に取り...	まああてはまる	Q1-2	3
4	k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身に付いた	Q2-1	3
5	k1b686a44	論理的に思考する力	まあ身に付いた	Q2-3	3
6	k1b686a44	パソコン等の使い方などの...	まあ身に付いた	Q2-6	3
7	k1b686a44	表現力	まあ身に付いた	Q2-7	3
8	k1b686a44	文化・社会・自然に関する基...	あまり身に付かなかった	Q2-2	2
9	k1b686a44	コミュニケーション能力	あまり身に付かなかった	Q2-8	2

## [操作] ロング形式をワイド形式に戻す（１）

- ・ 質問文と選択肢を置き換えた後は、ロング形式をワイド形式に戻します。
- ・ 戻す前に、回答まとめクエリで不要となった属性、値の２列を削除します。

列名の上で右クリックして、属性、値の２列を削除

	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 学籍番号	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 属性	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 値	A <sup>B</sup> <sub>C</sub> 質問番号	1 <sup>2</sup> <sub>3</sub> 数値
1	k1b686a44	真面目に授業に取り組む	とても		4
2	k72fcdd08	真面目に授業に取り組む	とても		4
3	k1b686a44	興味あることに自主的に取り...	まああ		3
4	k1b686a44	専門分野に関する知識	まあ身		3
5	k1b686a44	論理的に思考する力	まあ身		3
6	k1b686a44	パソコン等の使い方などの...	まあ身		3
7	k1b686a44	表現力	まあ身		3
8	k1b686a44	文化・社会・自然に関する基...	あまり		2
9	k1b686a44	コミュニケーション能力	あまり		2
10	k1b686a44	英語等の語学に関する知識	全く身		1
11	k1b686a44	課題を発見し解決に導く力	とても		4
12	k1b686a44	協働実践力	とても		4

列の削除  
他の列の削除  
例から列を追加する...  
重複の削除  
エラーの削除  
値の置換...  
フィル  
型の変更  
変換  
列のマージ

## [操作] ロング形式をワイド形式に戻す（2）

属性列を選択した状態で、変換タブの「列のピボット」ボタンを押し、ワイド形式への変換を始めます。

The screenshot shows the Power BI Desktop interface. The '変換' (Transform) tab is active. The '列のピボット' (Pivot Columns) button is highlighted with a red dashed box. Below the ribbon, a table is shown with columns '学籍番号' (Student ID), '質問番号' (Question Number), and '数値' (Value). The '質問番号' column is highlighted with a red dashed box, indicating it is the selected attribute column for pivoting.

	学籍番号	質問番号	数値
1	k1b686a44	Q1-1	4
2	k72fcdd08	Q1-1	4
3	k1b686a44	Q1-2	3
4	k1b686a44	Q2-1	3
5	k1b686a44	Q2-3	3
6	k1b686a44	Q2-6	3
7	k1b686a44	Q2-7	3
8	k1b686a44	Q2-2	2



## [操作] ロング形式をワイド形式に戻す（3）

「値列」に「数値」の列を選択し、詳細設定オプションで値の集計関数を「集計しない」とすることで、ワイド形式への変換を完了します。

### 列のピボット

列 "質問番号" にある名前を使用して新しい列を作成します。

値列 ①

数値

▼ 詳細設定オプション

値の集計関数

集計しない

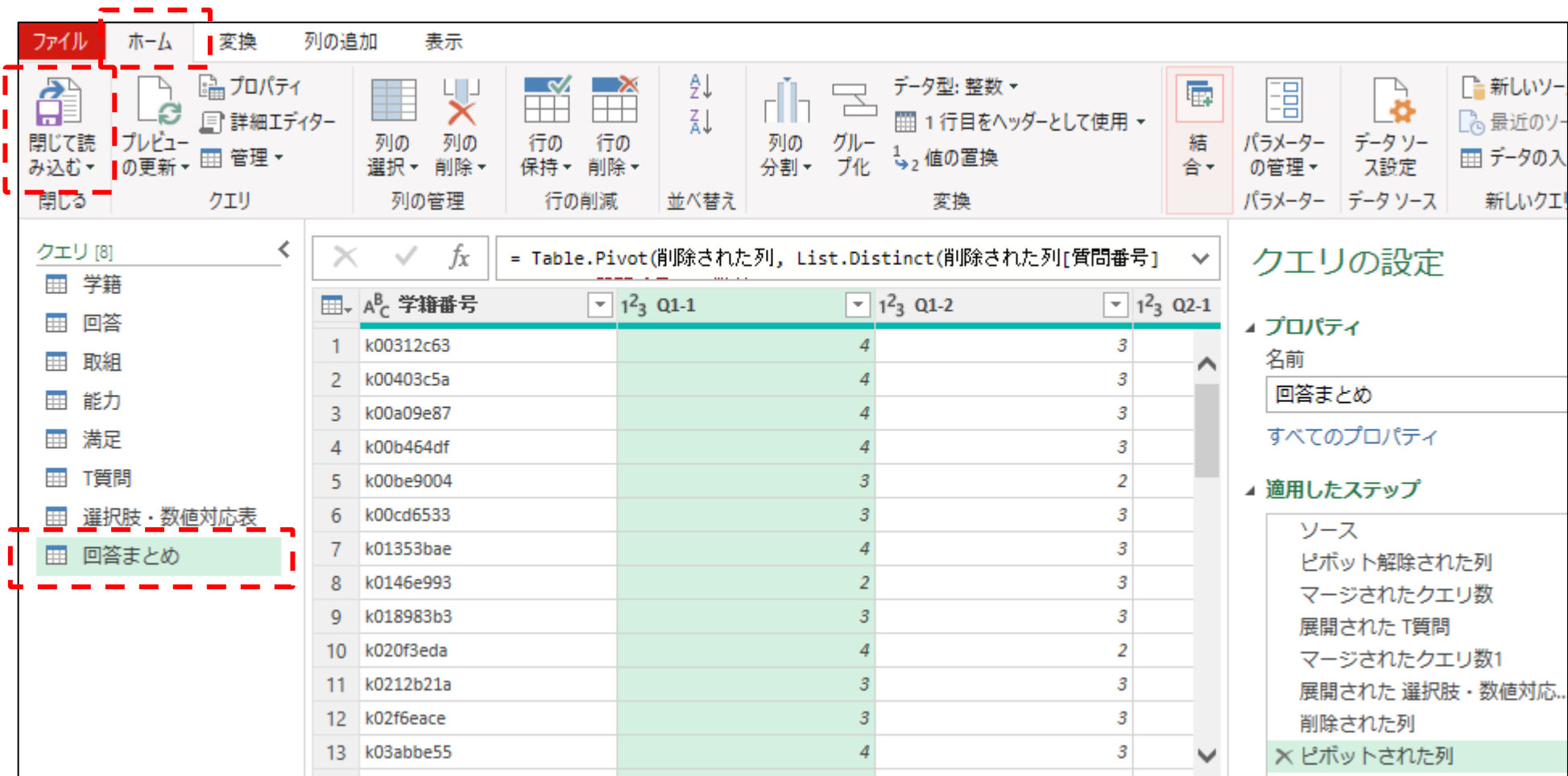
列のピボットの詳細

OK

キャンセル

# [操作] ロング形式をワイド形式に戻す (4)

ピボットしてワイド形式に戻した後は、ホームタブの閉じて読み込むボタンから、回答まとめクエリをExcelのシートに読み込ませます。



The screenshot shows the Power BI Desktop interface. The 'File' tab is active on the ribbon, with the 'Close and Load' button highlighted. The 'Queries' pane on the left shows a list of queries, with '回答まとめ' (Answer Summary) selected. The 'Query Settings' pane on the right shows the 'Properties' tab, with '回答まとめ' selected under '適用したステップ' (Applied Steps).

	A <sup>B</sup> 学籍番号	1 <sup>2</sup> <sub>3</sub> Q1-1	1 <sup>2</sup> <sub>3</sub> Q1-2	1 <sup>2</sup> <sub>3</sub> Q2-1
1	k00312c63	4		3
2	k00403c5a	4		3
3	k00a09e87	4		3
4	k00b464df	4		3
5	k00be9004	3		2
6	k00cd6533	3		3
7	k01353bae	4		3
8	k0146e993	2		3
9	k018983b3	3		3
10	k020f3eda	4		2
11	k0212b21a	3		3
12	k02f6eace	3		3
13	k03abbe55	4		3

# [操作] ロング形式をワイド形式に戻す (5)

Excelシートに読み込まれたところ。(選択肢置き換え完了.xlsx)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
1	学籍番号	Q1-1	Q1-2	Q2-1	Q2-3	Q2-6	Q2-7	Q2-2	Q2-8	Q2-5	Q2-4	Q2-9	Q2-
2	k00312c63	4	3	3	2	3	3	3	4	3	3	3	
3	k00403c5a	4	3	3	2	1	2	2	3	2	3	3	
4	k00a09e87	4	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	
5	k00b464df	4	3	4	4	4	3	2	4	2	3	3	
6	k00be9004	3	2	3	3	3	3	4	3	3	3	3	
7	k00cd6533	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	2	
8	k01353bae	4	3	2	2	2	3	3	3	2	2	3	
9	k0146e993	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
10	k018983b3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
11	k020f3eda	4	2	3	4	4	4	2	4	3	4	4	
12	k0212b21a	3	3	3	3	3	4	3	4	2	3	4	
13	k02f6eace	3	3	3	4	3	2	3	3	1	3	3	
14	k03abbe55	4	3	4	3	1	3	3	3	1	2	4	
15	k044e3810	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
16	k05464414	4	3	3	3	4	2						
17	k061c3e7e	3	4	3	2	3	3						
18	k0667b030	4	3	3	4	2	4						
19	k066906a3	3	4	3	3	4	3	4	3	3	2	2	
20	k06831d60	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	
21	k06f60dec	3	2	2	3	3	3	2	3	3	3	3	
22	k076025e3	3	3	3	3	2	3	2	4	2	3	2	
23	k08a3bdbe	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
24	k08cc537c	4	3	2	1	3	4	2	2	3	2	4	
25	k0951bf6a	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
26	k09cbb857	4	4	3	3	4	4	3	3	3	4	2	
27	k09e7a754	3	4	3	3	3	3	3	3	2	3	4	

クエリと接続  
クエリ | 接続  
8 個のクエリ  
学籍  
接続専用。  
回答  
接続専用。  
取組  
接続専用。  
能力  
接続専用。  
T質問  
接続専用。  
選択肢・数値対応表  
接続専用。  
回答まとめ  
750 行読み込まれました。

すべての列の置き換えが完了しました！

学籍 回答 取組 能力 満足 回答まとめ T ... + :

この資料の説明は以上となります。

*Thank you for reading!*